巻頭特集 フランチャイズ本部加盟店舗数ランキング

平成4年8月10日第3種郵便物認可　令和8年8月21日発行・発売
（隔月刊 偶数月の22日発行・発売）第36巻第10号通巻331号

# ビジネスチャンス 10 2026

## フランチャイズ本部 加盟店舗数ランキング

## 競争、新局面

巻頭Interview

FC展開急加速のカフェ・ベローチェ
「満席率」を高めるための店舗改革を断行

C-United　友成 勇樹 社長兼CEO

Top Interview

日本サブウェイ買収から間もなく2年、ワタミ流“当たり前経営”が奏功
全店平均月商は60万円増加し前年売上対比は70カ月連続超え

ワタミ　渡邉 美樹 会長兼社長CEO

https://www.bc01.net/

# FC TOPICS
フランチャイズトピックス

## 運動の習慣化を掲げる地域密着のストレッチ専門店
## 地域アスリート応援プロジェクトで知名度向上を図る
### バリード・ジャパン［東京都文京区］

バリード・ジャパン（東京都文京区）は、住宅地や地方都市をメインに「ストレッチ専門店 ストレチックス」を全国展開しており、現在は直営4店舗、FC15店舗を構えている。

同店の最大の特徴は、専門性と個別性を追求したオーダーメイドのストレッチにある。在籍するトレーナーは、マッサージセラピストやフィットネスインストラクターなどの実務経験者のみに限定。各自の専門知識や技術にストレッチを融合させることで、画一的ではない質の高い施術を実現している。さらに、指名料を廃止して完全な担当制を導入。毎回同じトレーナーが施術を継続することで、顧客一人ひとりに最適化された一貫性のあるアプローチを可能にしている。

同社は、ストレッチをきっかけとした運動の習慣化を目標に掲げている。そうしたビジョンのもと、店舗の知名度向上と地域貢献を兼ねて2024年から「地域アスリート応援プロジェクト」を始動した。これは、自身の出身地や活動拠点に愛着を持ち、競技大会やコンテストに挑戦している人々を「地域アスリート」と定義し、全国の店舗ネットワークを通じてサポートしていく取り組みだ。現時点でスポンサー契約しているのは、北海道で活動するアルペンスキー選手の畠中悠生乃氏、パデル日本代表選手の佐藤千文氏、女子プロレスラーの藤田あかね氏など、高い実力と人気を兼ね備えた多彩な顔ぶれが名を連ねている。

地域アスリートの活動を支援する傍ら、彼らとコラボレーションした動画コンテンツの配信にも取り組んでいる。知名度の高いアスリートが出演するインタビュー動画や店舗紹介動画は、通常の配信に比べて10倍以上の視聴回数を記録。こうした話題性の高いコラボ企画をフックに、同店のさらなる知名度向上とファン層の拡大を図っている。

このプロジェクトについて、山口晃二社長は次のように語る。

「地方に行けば行くほど、ストレッチ専門店の知名度は低い。存在自体は知っているが、サービス内容まで把握するのは難しい。今回の地域アスリート応援プロジェクトを通して、当店に興味を持ってもらい、来店に繋がる流れを作りたい」

現在は7人の地域アスリートをスポンサードしているが、今後は各店舗で1人以上を個別に支援していく計画だ。店舗ネットワークの拡大とともに地域密着の輪を広げ、将来的には、全国100店舗展開と海外進出という大きな目標の実現へ向けて突き進む。

▶地域アスリートとのコラボ企画を多数実施

## 加盟店表彰イベント「イメチェンアワード」開催
## 着実な事業拡大でグループ売上高5億8000万円を実現
### ココテラス［東京都墨田区］

リフォームFC「イメチェン」を展開するココテラスは、5月25日、都内で年に1度の加盟店向け表彰イベント「イメチェンアワード」を開催した。第1部は、2025年実績報告や今後の戦略共有、特別対談、加盟店表彰などを行った。第2部では懇親会も実施され、加盟店同士の交流が深められた。

冒頭、本部の瀧田大介氏が2025年実績について発表。年々右肩上がりで増加してきた新規見積り数は、2024